

令和7年度 ミニトマト（アンジェレ）技術情報 No. 5

大船渡農業改良普及センター
電話:0192-27-9918 FAX:0192-27-9936



- ・ 夜間温度 12℃ 以上を目標に保温しましょう。
- ・ 栽培終了後の株は、抜き取り、圃場外へ持ち出しましょう。
- ・ 次作の病害発生を防ぐために、資材消毒や土壌消毒を実施しましょう。
- ・ 来年度の施肥設計のために、土壌分析を行いましょう。

1 温度管理

- ・ 気温が低くなると生育が停滞し、果実の肥大・着色が悪化します。
- ・ 入り口やサイドにビニールを設置し、夜間温度 12℃ 以上を目安に、保温しましょう。

表1 温度管理の目標

	目標温度	備考
日中	25～28℃	35℃以上で落花の増加
夜間	12℃	8℃以下で着果不良

- ・ 外気温が下がり、日中でもハウス内の温度が上がりにくくなっています。出入口だけで換気を行う、夕方は早めに出入口を閉めるなど、**ハウス内の気温を高める管理**を行いましょう。

2 圃場の片付け、土壌分析

- ・ 病害虫の発生防止のために、栽培終了後の株はすきこまずに**抜き取り、圃場外へ持ち出して処分**しましょう。
- ・ 葉かび病やすすかび病、斑点病が多発した圃場では、支柱やネットなどに付着している病原菌が次作の発生源となります。薬剤による**資材消毒**を実施しましょう。

薬剤の例：ケミクロンG（参考：メーカー資料）

本剤はさまざまな病原菌（糸状菌、細菌、ウイルス）に対し有効です。

＜使い方＞

- ・ 1,000 倍液 → 10 分間浸漬
500 倍液 → ジョウロ散布または瞬間浸漬
- ・ 使用後は十分**水洗い**するとともに、風通しの良い場所で**乾燥**後、清潔に保ちましょう。

＜注意事項＞

- ・ 作業をする時は、必ずゴム手袋をしてください。
- ・ 散布をする時は、換気の良い場所でジョウロを使って散布してください。
- ・ 薬剤調整後は分解しやすいので、調整後 2～3 時間以内に消毒を終了しましょう。
- ・ 残液・廃液は、直射日光に 1～2 日さらし、有効成分の消失を確認してから徐々に排水するようにしましょう。
- ・ 使用前はラベルをよく読み、使用方法を守りましょう。

- ・ 土壌消毒を行う際は、必ず「ミニトマト」に適用がある薬剤を使用し、農薬使用基準を遵守しましょう。土壌消毒剤の例として、「バスアミド微粒剤」の使用方法を紹介します。農薬登録の内容は表のとおりです。

表 バスアミド微粒剤の農薬登録内容

商品名	適用病害虫 適用雑草	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
バスアミド微粒剤	萎凋病 褐色根腐病 白絹病 根腐萎凋病 半身萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種又は 定植 21 日前まで	1 回	本剤の所 定量を均 一に散布 して土壌 と混和す る。
	紅色根腐病	30 kg/10a			
	青枯病	30～60 kg/10a			

※この資料は令和7年9月10日時点の農薬登録情報に基づいて作成しています。

<注意事項>

- ・ 土壌を耕起・整地した後、均一に本剤を散布し、**深さ20 cm程度までロータリーで2～3回ていねいに混和**します。混和後、**土を握って形が崩れない程度の水分量**になるまで散水します。散水後は、すみやかにポリエチレンフィルムまたはビニール等で**全面被覆**します。
- ・ 被覆期間中は、出入口や側窓を閉め切り、**ハウス内に入らない**でください。被覆期間終了後は、**2回以上耕起してガス抜き**を行います。
被覆期間の目安（地温）25℃以上：7～10日、20℃：10～14日
15℃：14～20日、10～15℃：20～30日以上
※ 地温10℃以下では効果が劣るため、使用しないでください。

- ・ 来年度の施肥設計のために、**土壌分析**を行きましょう。JA おおふなとトマト生産部会員の皆さんは無料で実施することができます。詳細は JA おおふなとへお問い合わせください。

★いわてアグリベンチャーネットメールサービス会員募集中

農作物技術情報や農村地域の情報を幅広く提供する岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」のメール会員を募集します。

登録方法は以下のホームページをご覧ください。

URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/maillinglist.html>

★9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間

農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行きましょう。

令和7年度岩手県農作業安全スローガン「忘れずに！ 点検・確認・安全確認 無事故で終える収穫作業」